

..... は し が き

白 鳥 と 作 品

日本白鳥の会会長 家 田 三 郎

白鳥の来る町の人 その人 虚 子

白鳥の引きしといふ日彼もゐず 素 十

白鳥のために湖氷を割りしひと みづほ

葬ひも白鳥葬と名づけられ //

白鳥の羽を一枚くれにけり //

白鳥の真白きことを哀れとも //

白鳥の墓に茶殻と菜の花と //

白鳥の皆静かなる牡丹雪 //

白鳥のお医者といへば解るなり //

白鳥も鴨も瓢湖も日脚伸ぶ //

このほかにも、白鳥の句は沢山あるし、短歌も詩もある。

著書としてまとまったものでは、吉川さん・門脇さん・大森さん・阿部さんなどがあり、写真集でも松井さんや大勢の方々のものである。

こんど、本田さんが『文化史とエコロジー』という、いままでとは違った見方の著書を出版されるという。まことに教示深いことである。

白鳥とくらしながら、そのくらしが、まとまった作品となることは、その人の歴史でもあり教えられることが多い。白鳥と人間の関係、その意味を考えさせられている。